

かけはし

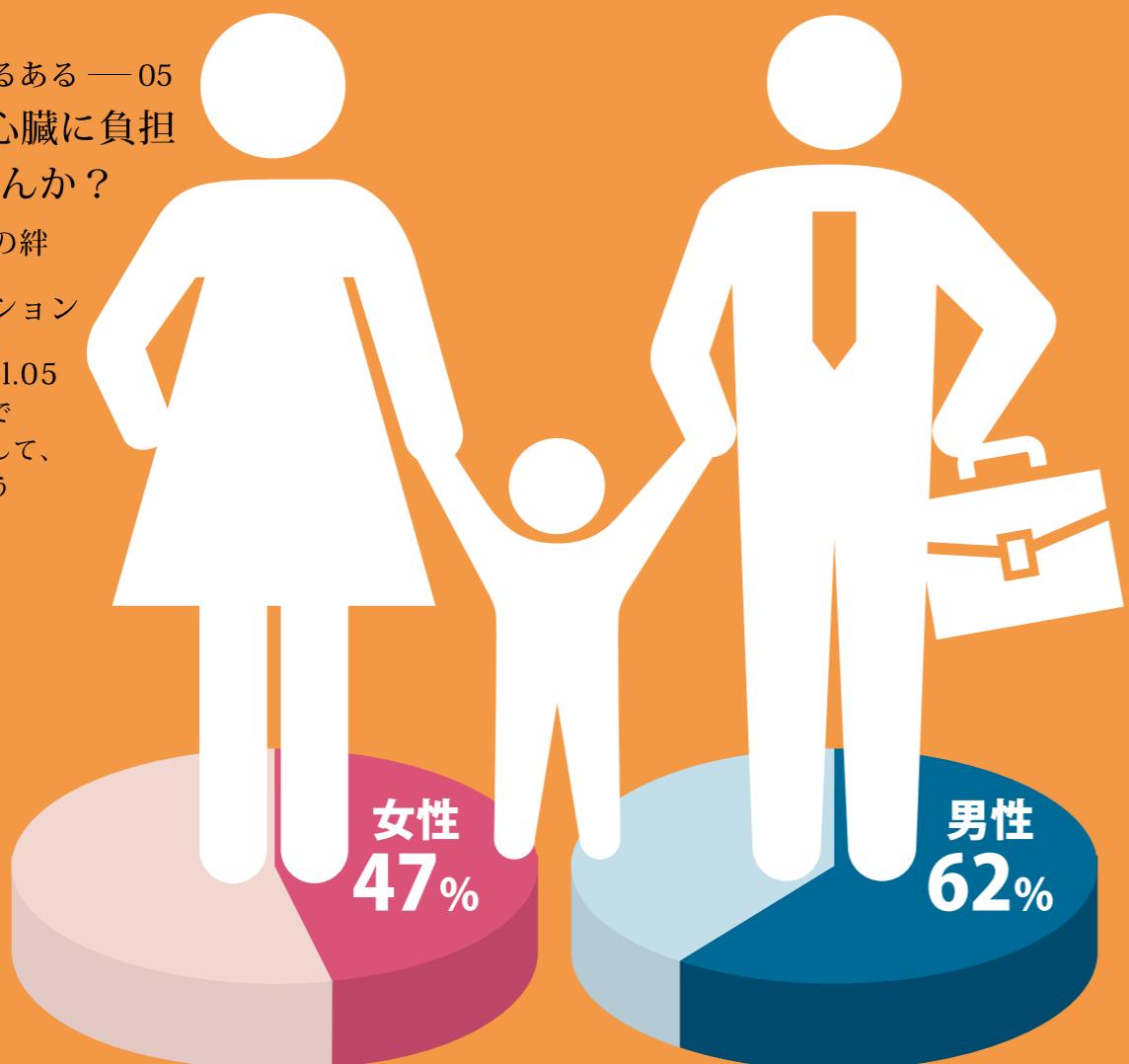
2019年
1月
vol.98

ご自由にお持ちください

【特集】がん検診

「健康だから」で大丈夫? 働き盛り、子育て世代のあなたへ

解決! 医療あるある—05
寒い季節、心臓に負担
かけてませんか?
地域連携医療の紹
インフォメーション
笑顔で介護 vol.05
肺ストレッチで
息切れを軽くして、
笑顔で過ごそう



当病院の認定看護師による、
知っていると得する介護の
豆知識をご紹介します。

肺ストレッチで 息切れを軽くして、笑顔で過ごそう

肺のまわりの筋肉は歳とともにどうしても硬くなり、その結果「呼吸数」が増えてしまう傾向にあります。呼吸数が増えることで息切れが悪化し、普段の生活の活気ややる気をなくしてしまいます。

「肺ストレッチ」で肺が本来のしなやかさを取り戻すと、呼吸数が減って息切れが軽くなるだけでなく、ストレスを感じにくくなったり、血圧の低下や冷え性の改善など、様々な変化を実感することができますよ。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 銀島 美鶴



「こきゅう」で覚えよう。肺ストレッチのポイント

肺ストレッチ

筋肉を柔らかくすることで、効率よく体を動かせる
ようになり、息切れの軽減にも役立ちます。

体幹・背部のストレッチ(各5回)



①両ひざを立て、鼻から息を吸います。

②息を吐きながら両ひざを右(左)に倒します。吐き終わるまでに戻します。

体幹のストレッチ(各5回)



二つこつと

一度に多くの体操をやっても効果はありません。毎日継続して行う
ことが重要です。

きつくない

急激にきつい体操をしても長続きせず、息切れがさらに悪化してしまうことがあるので、無理せず自分に合った体操を選びましょう。

ゆっくりと

体操は1つの動きを時間をかけて行う方が効果的です。ゆっくりと
気長に行いましょう。

うつむかず

息切れがあると、肩をすくめたうつ
むいた姿勢になりがち。呼吸筋が十分に動くよう、胸を張りましょう。

理念

患者さんの立場で
考える

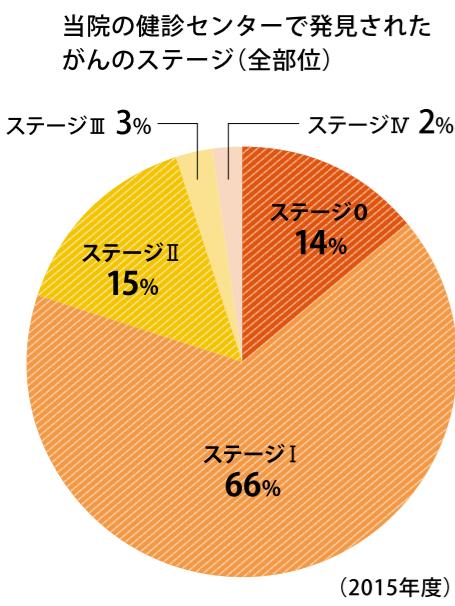
行動指針

私たちは、患者さんの立場にたって行動します
私たちは、信頼される医療を提供します
私たちは、チームワークを高め、活力溢れる職場をつくります

かけはし vol.98 2019年1月

[発行] 福井県済生会病院
〒918-8503 福井市和田町舟橋7番地1
TEL: 0776(23)1111 (代)
[責任者] 笠原善郎 [編集] 経営企画室

皆さんが受けている、いわゆる「健診(健康診断)」は、喫煙・飲酒歴などの問診に始まり身長・体重や血圧、胸部X線検査、検便など幅広い検査で、現在の体の健康状態や病気の有無を調べるもの。また、生活習慣から病気のリスクがあるかを評価し、予備軍の人には生活指導も行います。検査項目にはがん発見につながる項目も含まれます。一方「がん検診」は、特定のがんの発見を目的に行うもので、がんの種類によって必要な検査が選ばれます。一般的な「健診」でもがんを見つける検査もありますが、施設やコースによって項目が異なることがあるため、健診の内容を見て、追加する項目が



「会社で健康診断を受けてるし…」

なぜ 検診を
受けないの?
02

皆さんに受けている、いわゆる「健診(健康診断)」は、喫煙・飲酒歴などの問診に始まり身長・体重や血圧、胸部X線検査、検便など幅広い検査で、現在の体の健康状態や病気の有無を調べるもの。また、生活習慣から病気のリスクがあるかを評価し、予備軍の人には生活指導も行います。検査項目にはがん発見につながる項目も含まれます。

一方「がん検診」は、特定のがんの発見を目的に行うもので、がんの種類によって必要な検査が選ばれます。一般的な「健診」でもがんを見つける検査もありますが、施設やコースによって項目が異なることがあるため、健診の

内容を見て、追加する項目が

「何かあつたら病院に行けばいいし…」

なぜ 検診を
受けないの?
03

今は忙しいし、何かあつたら病院へ…と考えている方もおられるでしょう。しかし、一般的に、異変を感じる前に検診でがんを見つけることができれば、完治の確率はぐっと上がります。治療の選択肢も増え、今後の計画を立てる時間にも余裕ができるます。

実際に、がん検診で見つかるがんのほとんどは早い時期のものです。進行したがん

が見つかる場合も確かにあります。その後の適切な対応につながります。働き盛り、子育て中の忙しい人ほど、自分や家族のためにも、がんが増える年齢やリスクを意識して欲しいのです。

当院の健診センターでは年間約100例のがんが見つかっています。そのうち、9割が早い時期に見つかったものでした。

がん検診

「健康だから」で大丈夫? 働き盛り、子育て世代のあなたへ



出典:国立がん研究センター がん情報サービス「最新がん統計」より

なぜ 検診を
受けないの?
01

「今は健康だから…」

日本人の2人に1人が一生のうちにがんにかかる時代。

実は、健康な人の体でもがん細胞は日々生まれています。たいていは免疫細胞による攻撃で死滅しますが、生き残ってしまった一部のがん細胞が、1個が2個、2個が4個…と倍々に増えて「がん」になります。検査でわかるほどの大きさになるには10~20年かかりますが、そこからは1~2年で倍々に。自覚症状がない「自分は大丈夫」と思っていても、いつの間にか進行していることもあります。



信頼の
「人間ドック健診施設
機能評価認定施設」
「保健指導実施
認定施設」

福井県済生会病院 健診センター

緑の木々が癒しをくれる、明るく清潔な待合スペース。当院の健診センターでは、最先端の検査機器と専門スタッフを備え、高い精度のがん検診や一般健診を行う環境を整えています。女性特有の検査は、女性専用フロア「ウーマンズルーム」で行いますので安心してお越しください。充実のサービス、リラックスできる空間の中、ご自身の健康を見つめ直す日にしてください。

安心のフォローアップ体制

もしも異常が見つかっても、病院併設なのでスムーズに診療へつなぐことができます。また、地域の医師との連携で、フォローアップしながら日々の健康を後押ししています。

ニーズに応じたコースやオプション

短時間で全身をより正確に検査する「PET-CTコース」や、女性特有の疾患に焦点を当てた「レディースドック」、脳など特定の部位を調べるドックなど、一人ひとりに最適なテラーメイドの健診を行っています。

一般的に、適切な検診で初期のがんを発見できれば、治療の選択肢が広がり、方針を考えるための時間にも余裕が生まれます。医療費は少なくすみ、なにより治療による身体への負担も減ります。あなたの人生や大切な人のためにも、「自分は健康だ」「忙しいから」と思っている方ほど、受けてほしいのがん検診なのです。

当院の健診センターでは、がんの発見はもちろん、予防も同じくらい重要なと考えています。がんは生活習慣病とも言わるほど、喫煙、飲酒、塩分过多、運動不足、メタボなど、生活習慣が大きく関わっています。ぜひ、健診を、自分の体や生活を考えるきっかけにしてほしいと思っています。健診センターのスタッフが、皆さんの健康を守るお手伝いをしていきます。

福井県済生会病院 健診センター

0120-291-373
〔月～金〕
8:30～17:00
(土・日・祝日を除く)



福井県済生会病院 健診センター

検索

不安や疑問があっても大丈夫! コンシェルジュにお尋ねください

自分は何を検査すればいい? 検査の流れは? 当院の健診センターでは、コンシェルジュがお一人おひとりの生活習慣や気になることに応じて、検査のメニューをご提案します。分からることはお気軽にご相談ください。



がん検診、
受けてみたい
けど…

自分はどんな検査を 受ければいいの?



50歳以上

- 塩辛いものが好き
- ピロリ感染性胃炎の経験がある



40歳以上

- タバコを吸う(吸っていた)
- 咳がよく出る、痰が絡む



40歳以上

- 大腸ポリープがある
- 肥満 ● お酒を多く飲む

胃がん検診

2年に
1回

肺がん検診



年1回

大腸がん検診



年1回



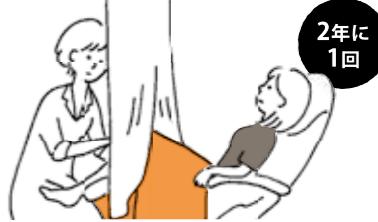
40歳以上の女性

- 初潮が早い ● 閉経年齢が遅い
- 出産や授乳の経験がない

乳がん検診

2年に
1回

子宮がん検診

2年に
1回

POINT

ご家族にがんが見つかった方は要注意!

がんには遺伝的要因も関わっていると言われます。ご家族にがんがある方はより注意が必要です。

ちょっと気になる「ケンシン」のこと

どう違う? 検診と健診(健康診断)

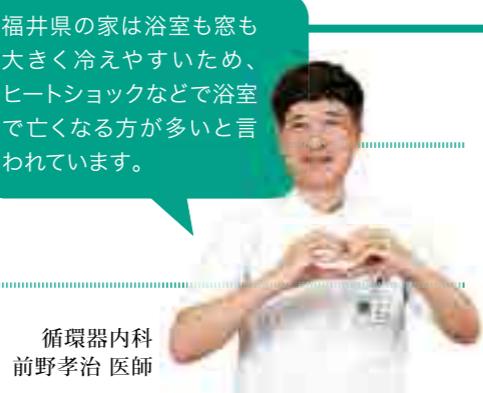
検査項目の違いと言っていいでしょう。いわゆる「健診(健康診断)」は、多くの項目で全体的に評価し、病気の予防や発見(診断)をします。さらに多くの項目、より精密な検査を行う場合、「ドック」ということもあります。一方の「検診」は、例えば胃がんなど特定の病気の発見が目的なので、対象とする病気を強調しているのです。

がん検診はいいことばかり?

隠れたがんを見つけるがん検診。しかし、いいことばかりとは言い切れない一面も。がんがないのにがんと判定されてしまったり(擬陽性)、放置しても影響のないタイプのがんが発見されてしまうことで、必要以上の検査を受けるなど精神的・身体的な負担がかかる(過剰診断)といった問題があるのも事実です。検診のメリットやデメリットを理解し、適切なタイミングで有効な検査を受けることが大切です。



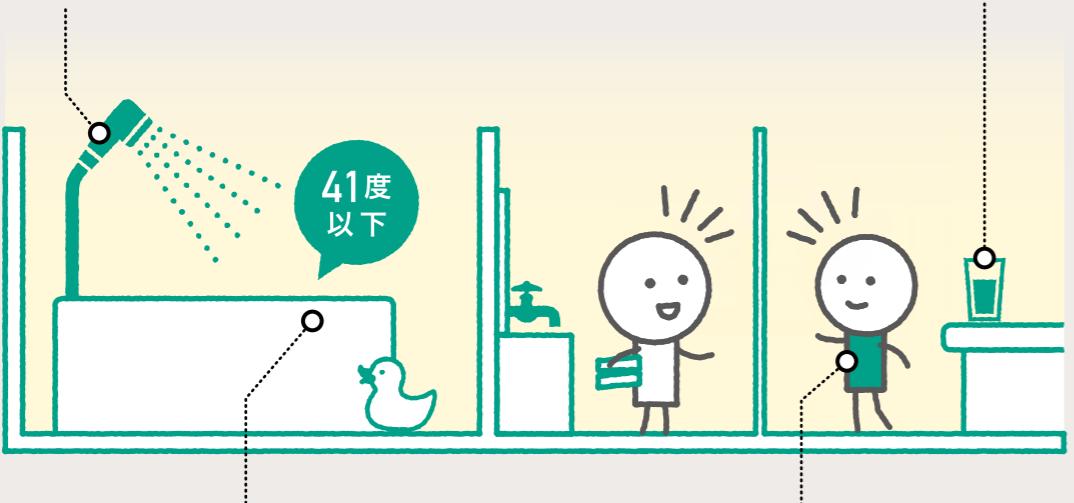
これで解決!
血圧を急変動させないため
前もって対策を



循環器内科
前野孝治 医師

01 入浴前に脱衣所や浴室を暖かく

ヒートショックの原因は、部屋と脱衣所、浴室の温度差。脱衣所は暖房で、浴室は湯船のふたを開けておいたりシャワーでお湯をはったりしてお風呂全体を暖めておくのもおススメです。



03 お湯の温度は41度以下で長風呂は避けて

42度以上の熱めのお湯は、瞬間に血管が収縮して血圧が上がってしまいます。その後血圧が下がってきますのでぬるめのお湯で、つかる時間は長くても10分以内にしましょう。



寒さの厳しい今の時期は特に要注意！

消費者庁の調査によると、浴室での死亡事故の約7割は11月から3月に発生し、総数は交通事故死よりも多いそうです。
(2016年、厚生労働省調査より)

特に高齢の方は対策をしっかりしてお風呂を楽しみましょう。

02 お風呂の前後には、水分をしっかりとろう

入浴中は想像以上に発汗しています。脱水によって血圧がさらに下がった状態で急に立ち上がりお湯から出ると、めまいや失神につながります。入浴前後にはコップ1杯の水を補給して。

04 入浴前には家族に一声かけて

万が一ヒートショックが起こってしまった場合、早くに発見することが大切です。入浴前に家族に声をかけ、定期的に確認をしてもらうと安心。

こんなこと、ありませんか？

- 家の部屋は暖かいけれど、廊下や脱衣所、トイレが寒い。
- 一番風呂で、熱いお湯につかるのが好き。
- 食事や飲酒の直後にお風呂に入ることがある。



関連医療ワード

ヒートショック

人の体は、暖かい所から寒い所に移ると血管が収縮して血圧が上昇、逆の場合は血管が広がり血圧は低下します。冬場の入浴では、暖かい部屋→寒い浴室→熱いお湯と急激な温度変化で血圧変動を繰り返し、ショック状態に。食事・飲酒直後の入浴も、脳貧血の危険があり要注意です。高齢者のほか、高血圧や糖尿病など動脈硬化リスクのある人、肥満や不整脈の人は影響を受けやすいため対策を心がけましょう。

熱いお風呂に入つて1日の疲れを癒すのは至福の時。ただし冬場の入浴は温度の変化に要注意です。心臓や血管に大きな負担がかかり、重大な健康障害を引き起こす危険な一面が潜んでいます。暖かい場所から寒い場所へと移動すると、急激な温度差で体に大きな負担がかかります。血圧が大きく変動し、めまいや失神、さらには脳出血や心筋梗塞が発症することも。年間1万人以上がこういった影響で命を落としているとみられています。特に10度以上の温度差は危険度大。外が冷え込む11月から2月にかけて重篤なショックが起こりやすいため、寒い脱衣所やトイレに行く時には注意が必要です。

そんなあなたは要注意！

入浴時の急激な温度変化でシヨツク状態に！



05
あるある
医療
解決

寒い季節、心臓に負担かけてませんか？



ご意見がある方は
以下に設置のご意見箱へ
投函ください

- 本館 1 階
 - ・総合サービスカウンター横
 - ・内視鏡センター受付前
 - ・緩和ケア病棟
 - ・ヘアーサロン横休憩コーナー
- 本館 3 階
 - ・家族待合室
- 東館 1 階
 - ・東館玄関横

いたいたご意見

病室の床頭台の時計が消灯時間に消えてしまい、夜中や明け方に何時か分からなくて不便。24時間表示にしてほしい。
(入院患者さんより)

この度は貴重なご意見ありがとうございます。

昨年12月に、全病棟の床頭台の入れ替えを行いました。新しい床頭台では、24時間時計を表示することができるようになりました。その他、新しい機能として、テレビ画面に病院から入院患者さんに向けた様々なお知らせを表示しております。

今後もお気づきの点などがございましたら、ぜひお知らせください。

ご意見
Opinion Box

病室の床頭台の時計表示について

BURARI SAISEIKAI SPOT
ぶらり
済生会
スポット
— vol.05 —

院内で何気なく目にしている景色にも、実は歴史や思いが込められています。
そんな済生会病院の「風景」をご紹介します。

東館前庭の松

健診センターやPETセンターのある当院東館。その玄関前の庭には、故寛仁親王殿下が御手植えになった松があります。済生会の総裁には代々皇族が就いています。ヒゲをたくわえた容貌から「ヒゲの殿下」と愛称で親しまれた寛仁親王殿下は、平成12年4月から、薨去される平成24年6月まで、済生会第5代総裁に就かれました。

当院には、総裁ご就任の年に、福井市で開かれた「第41回人間ドック学会」の記念講演で初めてご訪問されました。

その5年後に再びご来院を賜わり、前年に建設された東館や外来をご観察いただきました。この時、東館前で松の木の御手植えをなされました。お付



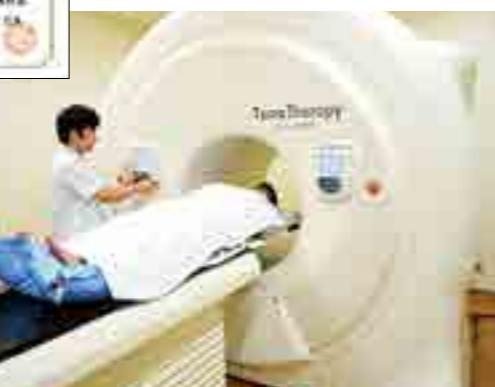
きしていた職員にも植樹をお勧めになるなど、和やかな雰囲気の式典だったとのことです。ご自身ががん経験者であり、医療・福祉の分野に多大なご尽力をされた殿下は、医療にとっても詳しく、視察中は済生会人としての心構えなどをたびたびお話しされたとのことです。殿下から賜ったお言葉の数々は、御手植えの樹とともに当院にしつかりと根付いています。

トモセラピーの
出力線量評価を受けました



放射線治療装置（トモセラピー）は、処方された線量を正確に投与するために、放射線の出力を適正に管理しておく必要があります。当院では、装置の定期的な精度管理を実施するとともに、実際に患者さんに照射する前に、全ての治療計画を検証しております。

この度、第三者機関である財団法人医用技術研究振興財団に測定評価を依頼し、当院のトモセラピーの出力が適切であるとの証明を受けました。今後



も、患者さんの安全を守り、安心して治療を受けていただけよう、放射線治療の品質管理に努めてまいります。

ご案内
Announcement

トモセラピーの 出力線量評価を受けました

ご案内
Announcement

テーマは「自分らしく生きる」 市民公開講座を開催します

当院の集学的がん診療センターは、緩和ケア病棟開設20周年を記念し「自分らしく生きるために」をテーマにした市民公開講座を開催します。

日本医科大学武藏小杉病院

緩和ケア病棟20周年記念 市民公開講座

『自分らしく生きるために ～最新のがん治療と共に進む緩和ケア～』

日 時／2019年3月2日(土)
14:00～

会 場／当院本館2階 研修講堂

参加費／無料(事前申し込みが必要です)

【お問い合わせ・お申し込み】
福井県済生会病院 集学的がん診療センター「市民公開講座」係
〒918-8503
福井市和田中町舟橋7-1
TEL 0776-23-1111(代)

院腫瘍内科の勝俣範之教授や当院の専門医による講演、シンポジウムを通して、最新のがん治療や緩和ケアの取り組みについてお伝えします。